

結果概要

1. 人口総数

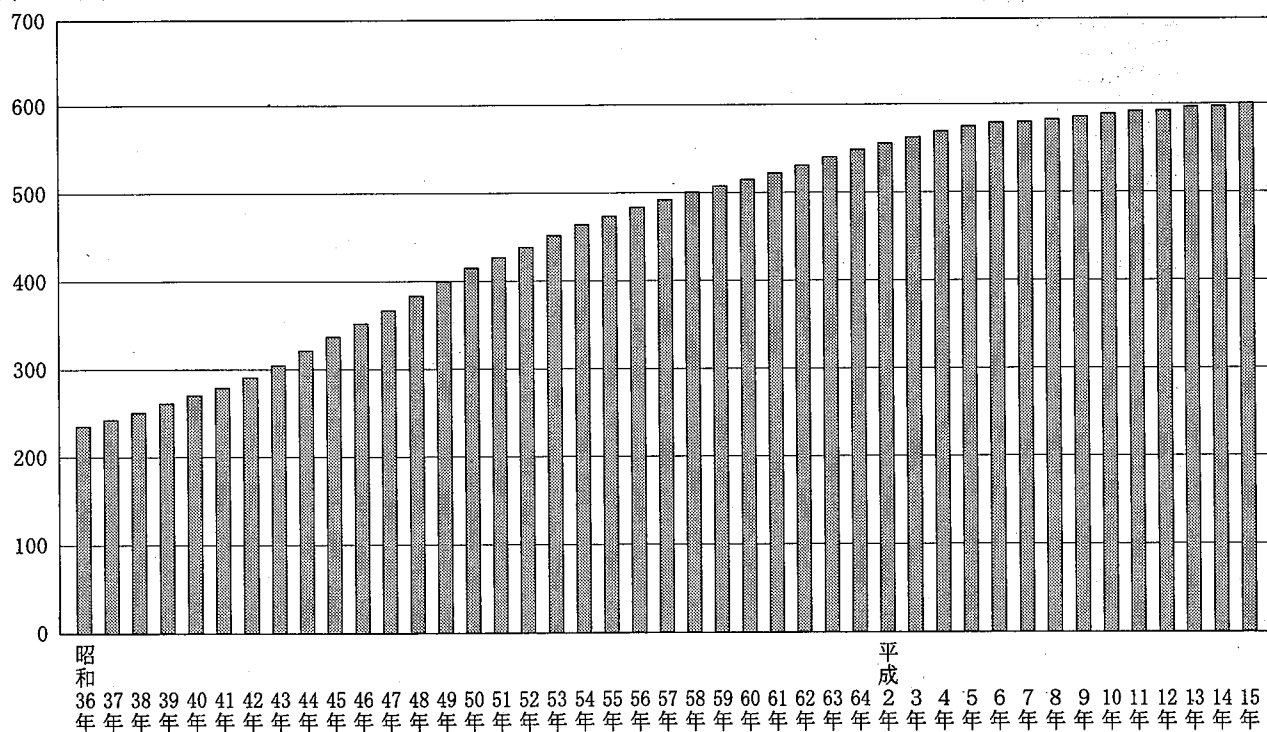
県人口601万人

平成15年1月1日現在の本県の人口は6,006,185人で、前年人口の5,973,025人に比べ33,160人、率にして0.56%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。

平成12年国勢調査（平成12年10月1日現在）によると、本県の人口は、5,926,285人で全国第6位となっている。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）

(単位：万人)



千葉市人口90万6千人
県人口の15.1%を占める

平成15年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（33市）のうち10万人以上の市は15市あり、そのうち千葉市が90万6千人（県人口に占める割合15.1%）で最も多く、郡部人口64万3千人（同10.7%）より多くなっている。以下、船橋市56万1千人（同9.3%）、松戸市47万1千人（同7.8%）、市川市46万2千人（同7.7%）、柏市33万2千人（同5.5%）の順で続き、この5市で県人口の45.5%を占めている。

郡部（42町5村）では、大網白里町が4万8千人（同0.8%）で最も多く、以下、沼南町4万6千人（同0.8%）、関宿町3万1千人（同0.5%）、小見川町2万6千人（同0.4%）、栄町2万5千人（同0.4%）の順となっている。

図2 10万人以上の市

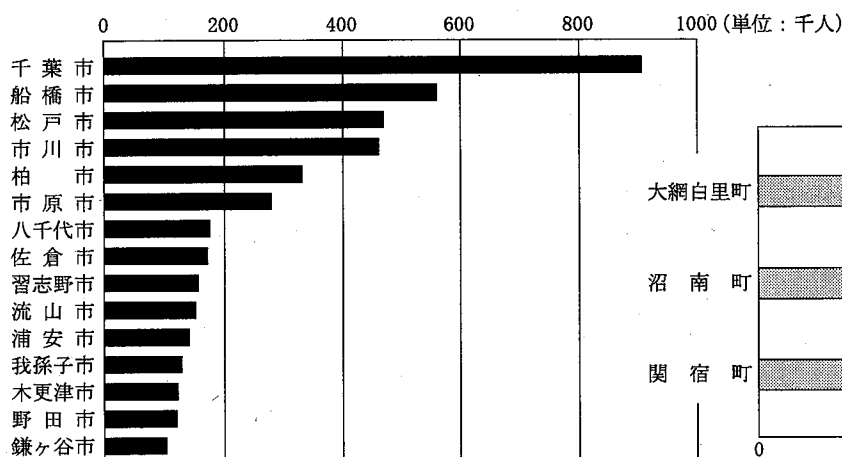
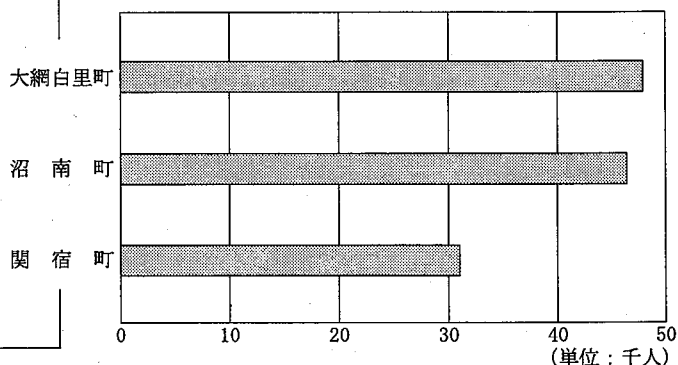


図3 3万人以上の町



2. 人口増加

人口増加数3万3千人
増加率0.56%

平成14年中の本県の人口増加は、増加数33,160人、増加率0.56%で、前年（38,629人、0.65%）より減少した。

近年の人口増加の推移を増加率でみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成14年には0.56%となった。

自然増加数は減少

平成14年中の自然増加は、増加数15,527人（出生55,309人、死亡39,782人）で、前年の17,251人（出生55,300人、死亡38,049人）に比べ出生が9人増加し、死亡が1,733人増加して自然増加数は1,724人減少となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成14年は0.26%となった。

社会増加数は減少

平成14年中の社会増加は、増加数17,633人（転入205,086人，転出187,701人，県内の移動－1,113人，その他1,361人）で，前年の21,378人（転入212,871人，転出192,251人，県内の移動－821人，その他1,579人）に比べ転入が7,785人減少し，転出が4,550人減少し，県内の移動が292人減少し，その他が218人減少して，社会増加数は前年に比べ3,745人の減少となった。

近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）でみると，昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で，そのうち昭和44年は，3.97%と4%に近い高い増加率であったが，昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し，平成14年には0.30%となった。

図4 人口増加率の推移（昭和36年～平成14年）

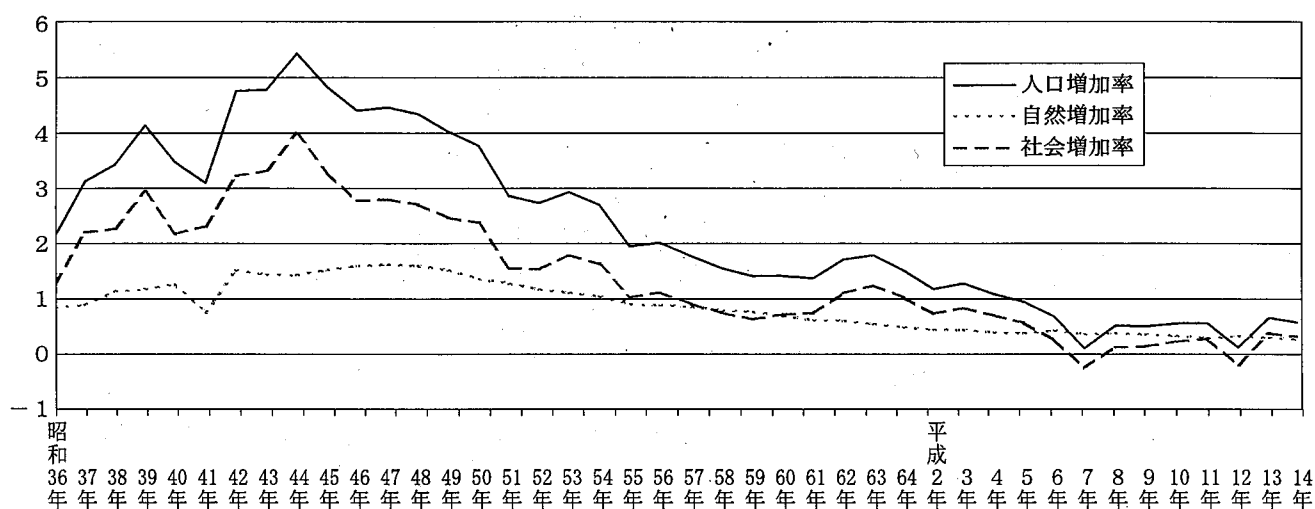


表1 月別動態別人口増加数（平成14年中）

（単位：人）

	人口増加	自 然 増 加			社 会 増 加				
		増加数	出 生	死 亡	増加数	転 入	転 出	県内の移動	その他
1 月 中	1,306	659	4,787	4,128	647	12,031	11,177	－263	56
2 月 中	1,299	916	4,288	3,372	383	13,266	12,388	－563	68
3 月 中	－7,707	1,021	4,440	3,419	－8,728	32,330	38,816	－2,484	242
4 月 中	18,916	1,174	4,533	3,359	17,742	37,152	21,881	2,076	395
5 月 中	3,950	1,679	4,908	3,229	2,271	15,567	13,716	308	112
6 月 中	1,573	1,461	4,256	2,795	112	11,951	11,933	－50	144
7 月 中	2,075	1,728	5,036	3,308	347	15,373	14,867	－289	130
8 月 中	3,698	1,628	4,667	3,039	2,070	15,327	13,610	199	154
9 月 中	2,885	1,727	4,663	2,936	1,158	13,897	12,737	－324	322
10 月 中	3,276	1,662	5,009	3,347	1,614	15,267	13,909	51	205
11 月 中	1,055	911	4,393	3,482	144	11,577	11,287	－93	－53
12 月 中	834	961	4,329	3,368	－127	11,348	11,380	319	－414
計	33,160	15,527	55,309	39,782	17,633	205,086	187,701	－1,113	1,361

注）その他とは，職権による記載・消除等をいう。

33市町村で人口増加
最高増加率は浦安市2.18%

平成14年中の人口増減を市町村別にみると、33市町村で人口が増加（平成13年35市町村）し、47市町村で減少した。増加数では、千葉市が8,730人（県人口増加数に占める割合26.3%）で最も多く、以下、船橋市6,196人（同18.7%）、市川市5,543人（同16.7%）、八千代市3,216人（同9.7%）、浦安市3,028人（同9.1%）と続いている。逆に、減少数では銚子市が861人で最も多く、以下、富津市506人、佐原市479人、印西市371人、君津市318人の順となっている。

また、人口増加率では浦安市が2.18%で最も多く、以下、印旛村2.08%、八千代市1.87%、酒々井町1.64%、市川市1.21%と続いている。逆に減少率では睦沢町が2.13%で最も高く、以下、富浦町1.75%、下総町1.68%、富山町1.41%、白浜町1.35%の順となっている。

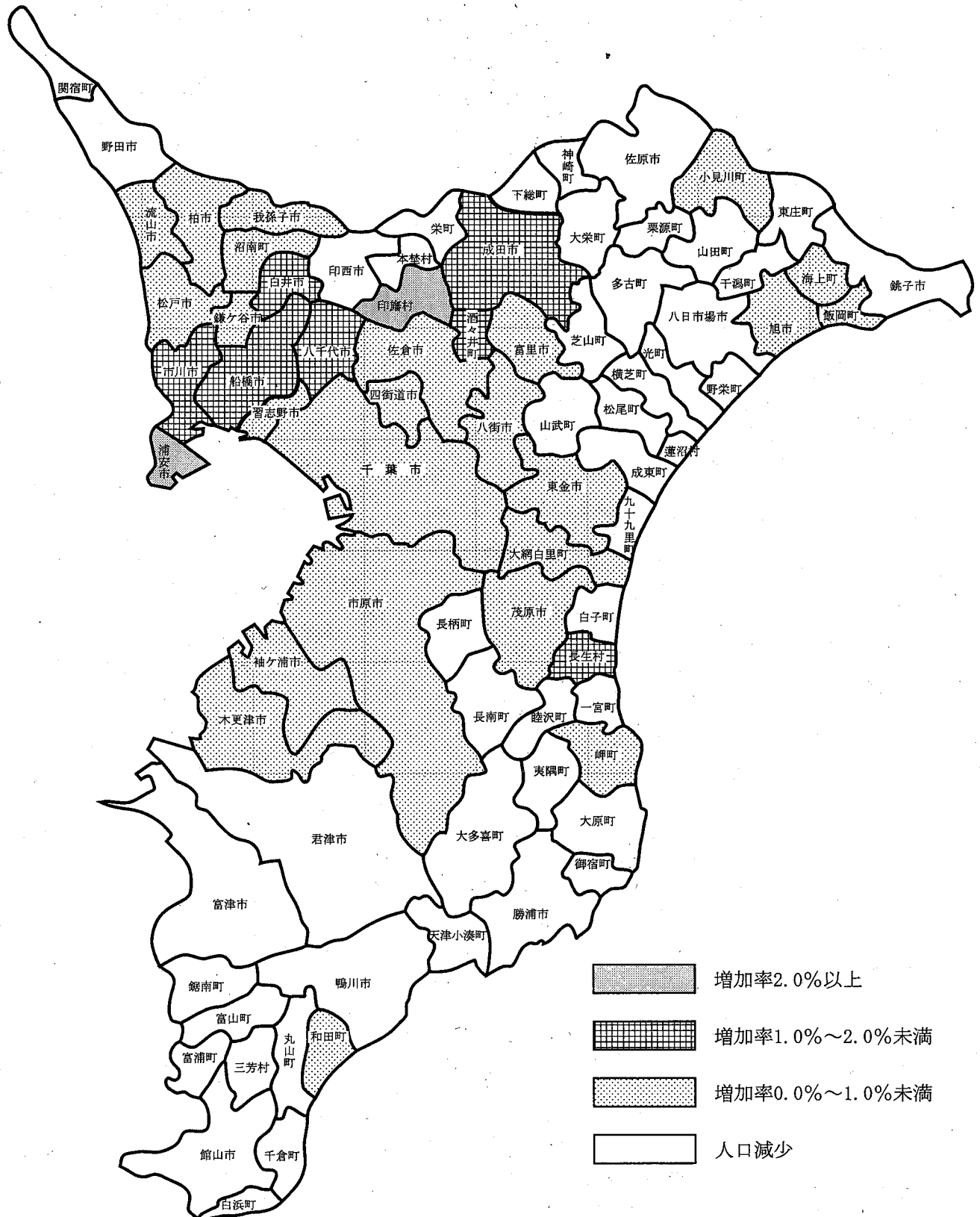
表2 人口増減数上位5市町村（平成10年～平成14年）

順位	平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	千葉市	7,703 ^人	千葉市	8,528 ^人	千葉市	7,446 ^人	千葉市	8,725 ^人	千葉市	8,730 ^人
2	八千代市	3,786	市川市	3,752	柏市	3,642	市川市	7,077	船橋市	6,196
3	船橋市	2,594	松戸市	2,771	浦安市	3,386	浦安市	4,871	市川市	5,543
4	市川市	2,523	八千代市	2,700	八千代市	1,385	船橋市	4,766	八千代市	3,216
5	柏市	2,163	船橋市	2,475	東金市	1,351	松戸市	3,108	浦安市	3,028
順位	平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	銚子市	658 ^人	銚子市	675 ^人	市原市	1,996 ^人	銚子市	643 ^人	銚子市	861 ^人
2	佐原市	485	富津市	350	野田市	1,561	富津市	486	富津市	506
3	館山市	320	鴨川市	343	君津市	1,173	小見川町	368	佐原市	479
4	鴨川市	274	勝浦市	234	佐倉市	1,061	館山市	365	印西市	371
5	富津市	245	関宿町	189	銚子市	919	君津市	364	君津市	318

表3 人口増減率上位5市町村（平成10年～平成14年）

順位	平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率
1	本埜村	12.51%	本埜村	15.10%	印旛村	11.33%	印旛村	5.91%	浦安市	2.18%
2	神崎町	2.58	八街市	2.47	本埜村	5.18	浦安市	3.64	印旛村	2.08
3	大網白里町	2.35	大網白里町	1.71	浦安市	2.60	八街市	1.98	八千代市	1.87
4	八千代市	2.34	八千代市	1.63	東金市	2.30	八千代市	1.63	酒々井町	1.64
5	東金市	2.10	佐倉市	1.33	富里町	1.34	市川市	1.57	市川市	1.21
順位	平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率
1	天津小湊町	1.39%	富山町	1.87%	長南町	3.37%	鋸南町	1.54%	睦沢町	2.13%
2	大多喜町	1.25	和田町	1.72	干潟町	3.16	白浜町	1.50	富浦町	1.75
3	鋸南町	1.12	白浜町	1.49	岬町	3.00	小見川町	1.41	下総町	1.68
4	長柄町	1.12	天津小湊町	1.44	栗源町	2.13	干潟町	1.39	富山町	1.41
5	勝浦市	1.01	丸山町	1.29	小見川町	2.10	丸山町	1.37	白浜町	1.35

図5 市町村別人口増加率（平成14年1月～12月）



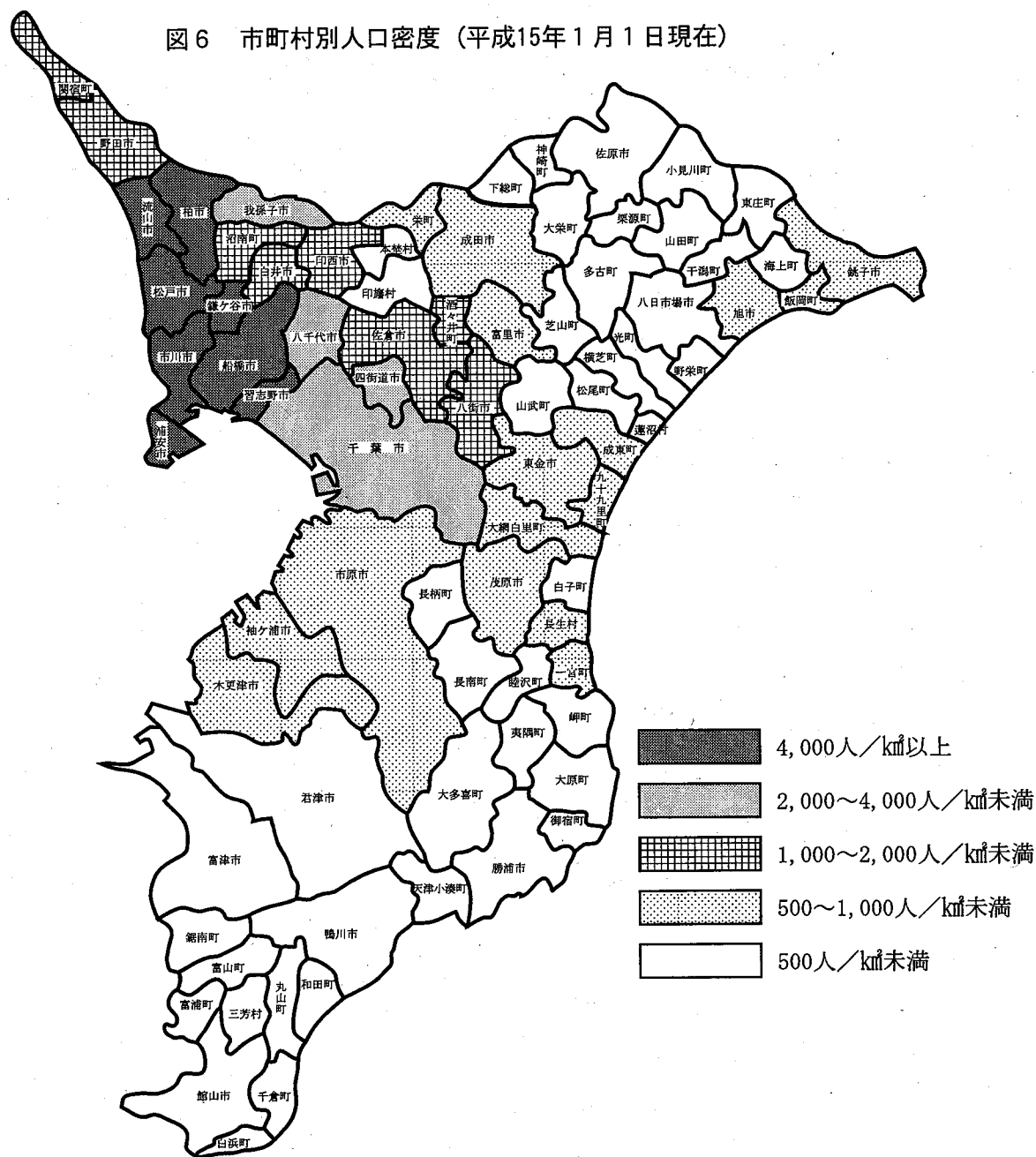
3. 人口密度

県人口密度1,164.8人/㎢
市町村別人口密度は浦安市
が8,187.9人/㎢で最高

本県の人口密度は、平成15年1月1日現在1,164.8人/㎢で、前年の人口密度(1,158.4人/㎢)に比べ6.4人/㎢高くなった。市郡別にみると、市部1,624.4人/㎢、郡部346.6人/㎢で、市部は郡部の約5倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が8,187.9人/㎢で最も高く、以下、市川市8,045.7人/㎢、松戸市7,683.6人/㎢、習志野市7,451.7人/㎢、船橋市6,546.4人/㎢と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町91.2人/㎢、丸山町127.2人/㎢、三芳村138.0人/㎢、富山町146.9人/㎢、長南町157.9人/㎢の順となっている。

図6 市町村別人口密度（平成15年1月1日現在）



4. 人口性比

県人口性比100.6

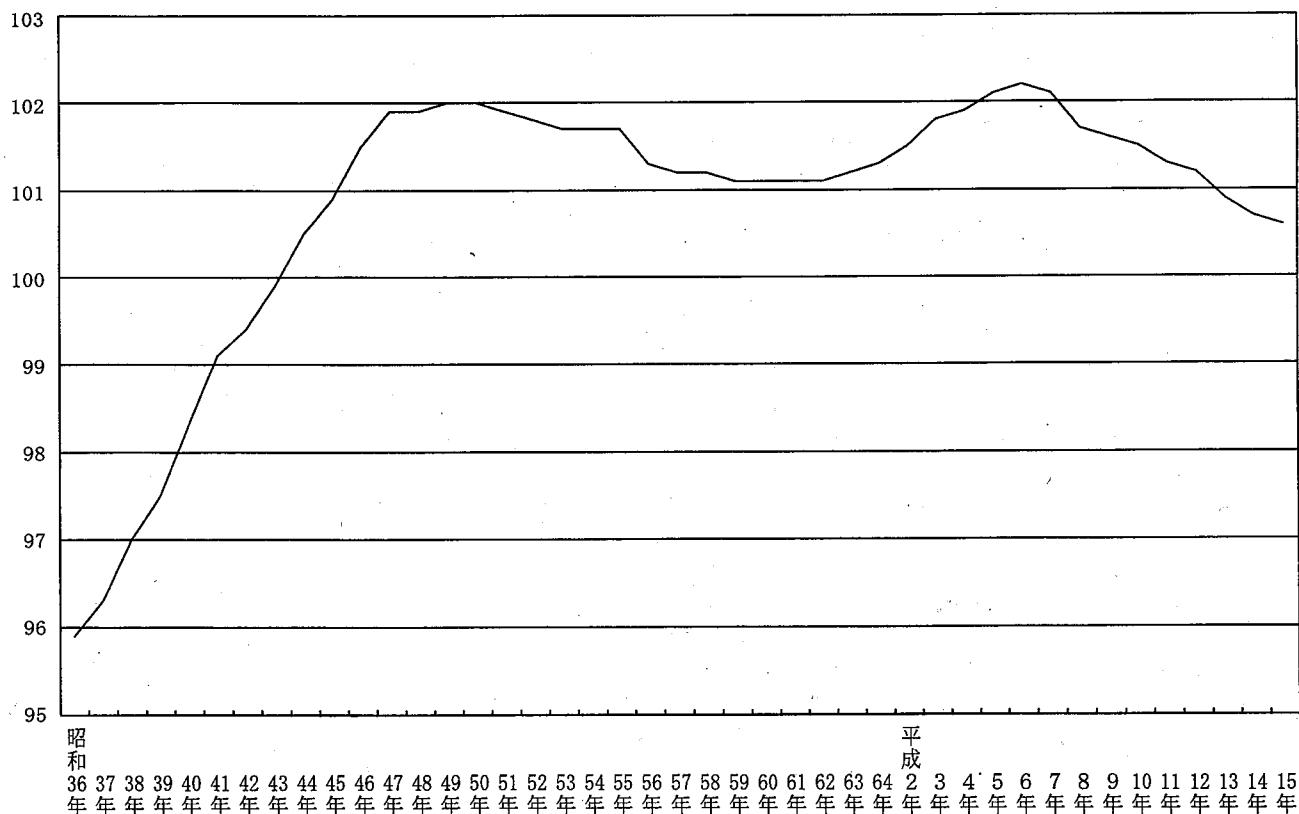
平成15年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子3,012,659人、女子2,993,526人で男子が女子に比べ19,133人多く、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、100.6で前年（100.7）に比べ0.1ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、市川市の107.1が最も高く、以下、浦安市106.5、勝浦市106.2、市原市105.7、富里市104.7で、逆に最も低いのは白浜町の84.4で、以下、鴨川市89.4、千倉町89.5、御宿町89.8、富浦町・天津小湊町90.5となっている。

100以上の市町村は23市町で、100未満の市町村は57市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、昭和50年には102.0、以降は徐々に低下したが、昭和63年以降は再度上昇傾向にあり、平成6年には、過去最高の102.2となった。

図7 人口性比（昭和36年～平成15年、各年1月1日現在）



5. 世 帯 数

県世帯数226万4千
1世帯当たり人員は
2.65人

平成15年1月1日現在の本県の
世帯数は2,264,190世帯で、前年の
世帯数2,223,990世帯に比べて
40,200世帯増加し、増加率では1.81

%となり、人口増加率0.56%よりも高い率となっている。

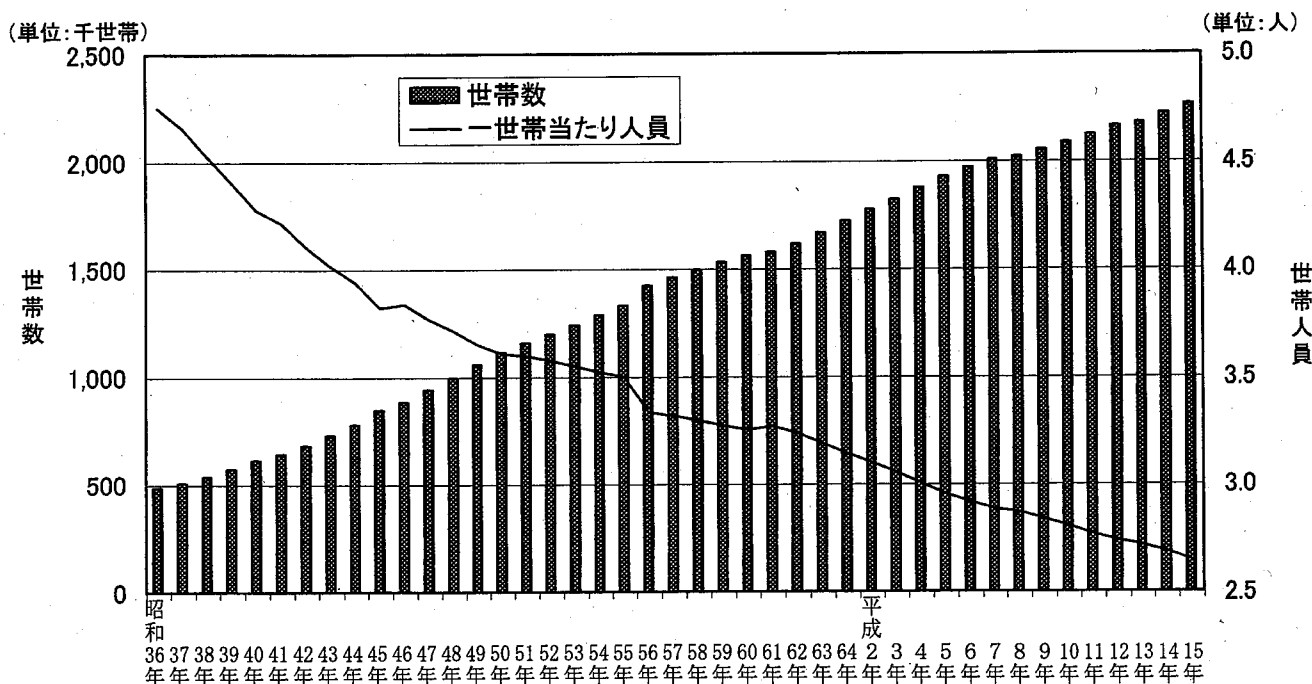
1世帯当たり人員は2.65人で、前年の2.69人に比べ0.04人減少した。また、1世帯当たり人員を市町村別にみると、千歳町の4.07人が最も多く、以下、山田町3.89人、野栄町3.67人、東庄町3.65人、本埜村3.58人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.27人で、以下、浦安市2.31人、習志野市2.45人、勝浦市2.46人、船橋市2.48人の順となっている。県の1世帯当たり人員より少ないのは12市町で、多いのは68市町村となっている。

表4 月別世帯増加数（平成14年中）

	増加数	転 入	転 出	その他
1 月中	1,469	6,470	5,500	499
2 月中	1,305	7,093	6,342	554
3 月中	2,883	17,342	16,046	1,587
4 月中	16,821	22,360	9,355	3,816
5 月中	3,644	8,898	6,646	1,392
6 月中	1,741	6,561	5,967	1,147
7 月中	2,040	8,020	6,966	986
8 月中	2,813	7,893	6,399	1,319
9 月中	2,548	7,756	6,293	1,085
10月中	2,952	8,276	6,632	1,308
11月中	1,345	6,253	5,580	672
12月中	639	5,832	5,551	358
計	40,200	112,754	87,277	14,723

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図8 世帯数及び世帯人員数の推移（各年1月1日現在）



6. 県外との人口移動

人口移動総数39万人
移動率6.55%

平成14年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、392,787人で前年の405,122人に比べ12,335人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.55%と、前年の6.80%に比べて0.25ポイント低下した。

1万7千人の転入超過
転入超過率0.29%

平成14年中の県外からの転入者数は205,086人（前年212,871人）、転出者数187,701人（同192,251人）で、転入超過数17,385人（同20,620人）となり、転入超過数は3,235人減少した。

また、平成14年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.29%と、前年の0.35%に比べて0.06ポイント低下した。なお、県外との関係は43の都道府県から転入超過となり、3都県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（昭和63年～平成14年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
63 平成元	417,118人	7.75%	64,544人	1.20%	240,831人	176,287人	5,380,759人
2	422,316	7.72	54,224	0.99	238,270	184,046	5,471,257
3	432,300	7.79	43,116	0.78	237,708	194,592	5,546,610
4	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
5	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
6	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
7	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
8	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
9	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
10	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
11	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
12	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
13	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
14	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成10年～平成14年）

順位	平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	大阪府	1,271人	東京都	1,516人	大阪府	1,934人	大阪府	2,387人	大阪府	2,749人
2	埼玉県	874	大阪府	1,257	埼玉県	1,145	茨城県	1,385	茨城県	1,376
3	北海道	779	埼玉県	1,091	兵庫県	869	北海道	1,371	宮城県	1,303
4	兵庫県	447	福岡県	634	茨城県	762	埼玉県	1,185	兵庫県	1,086
5	静岡県	397	新潟県	606	愛知県	673	宮城県	1,032	北海道	936
順位	平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	茨城県	1,053人	沖縄県	60人	東京都	2,650人	東京都	3,396人	東京都	3,657人
2	東京都	41	鹿児島県	46	群馬県	170	神奈川県	437	神奈川県	1,581
3	島根県	35	岩手県	13	神奈川県	157	香川県	2	島根県	20
4	福井県	24	高知県	10	青森県	24	沖縄県	2		
5			山梨県	9	大分県	15				

7. 人口重心

人口重心は千葉市花見川区
畑町付近

本県の人口重心は、平成15年1月1日現在で、千葉市花見川区畑町付近の東経140度5分14秒・北緯35度39分46秒の位置にあり、平成12年国勢調査（平成12年10月1日現在）時点より南西方向に約300m移動した。

大正9年の人口重心は、市原市瀬又付近であるが、その後、人口重心は北西方向に移動してきている。

注）人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持っているとして、地域内の人口を1点で支えて平衡を保つことのできる点をいう。これは、人口の地域分布状況を集約して示す指標の一つである。なお、千葉県の人口重心の計算にあたっては、県内各市町村の人口重心がそれぞれ現在の市役所・町村役場にあると仮定した。

表7 千葉県の人口重心の推移（大正9年～平成15年）

年次	東 度 分 秒	北 緯 度 分 秒	移動距離 km	位 置
大正9年	140 12 38	35 32 25	—	市原市瀬又付近
大正14年	140 12 24	35 32 49	0.8	千葉市誉田町付近
昭和5年	140 12 23	35 33 12	0.7	〃
昭和10年	140 12 22	35 33 29	0.5	〃
昭和15年	140 12 9	35 33 50	0.7	千葉市平山町付近
昭和22年	140 11 30	35 34 7	1.1	〃
昭和25年	140 11 24	35 34 18	0.4	〃
昭和30年	140 10 57	35 34 44	1.0	〃
昭和35年	140 10 8	35 35 23	1.7	千葉市仁戸名町付近
昭和40年	140 8 19	35 36 45	3.7	千葉市貝塚町付近
昭和45年	140 6 43	35 37 34	2.9	千葉市轟町付近
昭和50年	140 5 52	35 38 20	1.9	千葉市小仲台付近
昭和55年	140 5 27	35 38 53	1.2	千葉市小中台町付近
昭和60年	140 5 15	35 39 10	0.6	千葉市朝日ヶ丘付近
平成2年	140 5 8	35 39 28	0.6	千葉市畑町付近
平成7年	140 5 20	35 39 49	0.7	千葉市花見川区畑町付近
平成12年	140 5 20	35 39 54	0.2	〃
平成15年	140 5 14	35 39 46	0.3	〃

資料：大正9年～平成12年は、国勢調査結果による（各年10月1日現在）

平成15年は、千葉県毎月常住人口調査結果による（1月1日現在）

図9 人口重心の移動（大正9年～平成15年）

